

シスコのサプライヤ倫理綱領

Cisco Systems, Inc. およびその関連会社（シスコ）は、最高水準の製品品質と誠実な業務の実現を目指しています。シスコは、そのサプライヤおよび従業員の誰もが、最高水準の誠実さ、公平性、信頼性をもって振る舞い、すべての適用法令に準拠し、不正と捉えられるようなことも避けるよう求めます。

サプライヤは、その従業員、請負業者、代理人およびサービスまたは製品をシスコに提供するように任命された第三者が、本サプライヤ倫理綱領に従って行為することを確実にするものとします。シスコは、サプライヤを監査し、サプライヤの施設を検査して、本綱領を遵守していることを確認することができます。シスコは、本綱領または他のシスコポリシーに反する行為をするサプライヤの従業員または代表者をただちに排除することを要求することができます。本綱領に従わなかった場合、シスコとの将来的な取引に関する検討対象として不適格となり、さらに既存の取引が終了する可能性があります。本綱領に基づく義務に関するサプライヤからの質問は、シスコ倫理担当室（ethics@cisco.com）にご連絡ください。

適用法令およびシスコポリシーの遵守

サプライヤは、差別およびハラスメントを禁止する雇用法を含め、サプライヤおよびサプライヤとシスコの取引に適用されるすべての法律、規制および政策に準拠するものとします。本綱領またはその他適用されるシスコポリシーが適用法令と矛盾する場合、サプライヤが法令および本綱領またはポリシーの両方を遵守できない範囲で、適用法令が、かかる矛盾箇所につき優先します。本綱領が他の適用されるシスコポリシーと矛盾する場合、サプライヤが本綱領および当該ポリシーの両方を遵守できない範囲で、本綱領が優先します。

インサイダー取引

連邦および州の法律では、公開されていない重要情報を入手した者による証券取引が禁止されています。サプライヤがシスコとやりとりすることにより、サプライヤはシスコや別の会社（シスコのお客様、サプライヤおよびその他ビジネスパートナーを含む）に関する重大な非公開情報に触れるかも

贈答品、旅行および接待

サプライヤは、いかなる贈答品、旅行、接待、政治献金、慈善寄付も、その価値を問わず、直接または間接的にシスコの従業員またはシスコを代理する第三者に与えてはなりません。サプライヤからシスコの従業員に贈答品、旅行または接待を提供できるのは、次の (a) ~ (c) を満たす場合に限られます。(a) 適切であること (現金、現金相当物、その他除外される種類の贈答品は不可とし、事実上または外観上不正でなく、あらゆる当事者にとってすべての法律、規制、政策に準拠したものであること)、(b) 価値が妥当であること、および (c) その価値の透明性が十分に確保されること。

利益相反

利益相反は、シスコの従業員の個人的な利害がシスコの利益と衝突する場合に発生します。これは、従業員または家族もしくは友人が、当該従業員がシスコで有する地位の結果、個人的な利益を得る場合に発生する可能性があります。サプライヤは、利益相反または利益相反と捉えられるようなことを発生させる可能性があるすべての関係をシスコ倫理担当室 (ethics@cisco.com) に開示するものとします。サプライヤは、シスコの指示に従って、事実上または外観上の利益相反を是正するものとします。

不公正取引

シスコは、公正に競合し、シスコがビジネスを行うすべての国の反トラストおよび競争法を遵守するよう取り組んでいます。サプライヤは、適用されるすべての公正取引、広告および反トラスト・競争法を遵守するものとします。サプライヤは、サプライヤの競合他社との間で、価格協定、不正入札、顧客もしくは市場の割り振り、または現在、最近もしくは将来の価格情報の交換を行わないものとします。

目次

適用法令およびシスコポリシーの遵守

インサイダー取引

贈答品、旅行および接待

利益相反

不公正取引

腐敗防止

シスコに代わって行う未承認のロビー活動
およびメディア対応

知的財産権、プライバシーおよびデータ
保護

シスコのグローバル人権ポリシー

サプライヤ行動規範

簿外資金

倫理的問題に関する注意事項

腐敗防止

シスコは、最高水準の腐敗防止標準と整合しこれに準拠する形で事業を行おうと取り組んでいます。腐敗は一般大衆の信頼を損ない、経済的かつ社会的な発展を脅かし、公正取引に損害を与えます。サプライヤは、米国海外腐敗行為防止法、他の国におけるすべての類似する腐敗防止と贈収賄に関する法、および[シスコの国際汚職防止ポリシー](#) [英語] を遵守するものとします。サプライヤは、贈収賄、強要または横領に関与したり、関与しようとしたりしないものとします。サプライヤは、誠実さ、公平さおよび高い倫理的基準をもって行動し、世界中で行うすべてのビジネス上のやりとりにおいて不正と捉えられるようなことを回避するものとします。

シスコに代わって行う未承認のロビー活動およびメディア対応

サプライヤは、シスコの[政府渉外グループ](#) [英語] から明示的な書面による同意を得ずに、いかなる種類の政府組織、公務員、政府団体、および政府代表者に対しても、シスコの代わりに、何らかの種類のロビー活動およびその他の同様の代理行為を行ってはならないものとします。サプライヤは、シスコによって明示的に承認されている場合を除き、シスコについて、またはシスコに代わって、メディアへの表明を行わないものとします。

知的財産権、プライバシーおよびデータ保護

サプライヤは、適用されるすべての知的財産権および法律を遵守するものとします。サプライヤは、合法的に取得またはライセンス供与された情報技術およびソフトウェアのみを使用し、かかるライセンスの条件に従ってのみこれらを使用するものとします。サプライヤは、シスコの技術、機密情報または企業秘密を、シスコ法務部の書面による事前の同意なしに譲渡しないものとします。サプライヤは、あらゆる取引相手のプライバシーと秘密保持に対する合理的な期待を尊重し、シスコならびにシスコの従業員、お客様およびパートナーに関するデータを含め、シスコとの関係から入手するすべてのデータを適切に保護するものとします。サプライヤは、個人情報、秘密情報、独自情報、その他機密情報を収集、保存、処理、送信または共有するときに、シスコの指示とプライバシー、データ保護、セキュリティに関する法律および規制を遵守するものとします。サプライヤは、シスコが承認したビジネスに関連する目的のためにのみ、シスコが提供する情報技術およびシステムを使用するものとします。

目次

適用法令およびシスコポリシーの遵守

インサイダー取引

贈答品、旅行および接待

利益相反

不公正取引

腐敗防止

シスコに代わって行う未承認のロビー活動
およびメディア対応

知的財産権、プライバシーおよびデータ
保護

シスコのグローバル人権ポリシー

サプライヤ行動規範

簿外資金

倫理的問題に関する注意事項

シスコのグローバル人権ポリシー

シスコのグローバル人権ポリシーは、すべての人の人権に対するシスコの長期的コミットメントをまとめたものです。シスコは、[国連の世界人権宣言](#) [英語] と [国際労働機関（ILO）の8つの中核的労働条約](#) [英語] に含まれる人権を支持および尊重し、[国連のビジネスと人権に関する指導原則](#) [英語] に従っています。サプライヤは、かかるすべての原則に従って、また、世界および地域の適用されるすべての人権関連法に準拠して、ビジネスを行うものとし、さらに、サプライヤは以下を行うものとし、

- 人権を侵害しない責任あるビジネスプラクティスに従うこと。
- 人権侵害の恐れを定期的に評価すること。
- サプライヤが発生させる、またはサプライヤが発生の一因となる人権に対する悪影響のリスクを軽減し、改善を可能にすること。
- 人権に影響を与える問題について、関係者と前向きに協力すること。
- 人権に関するコミットメントを達成するためのシスコの取り組みをサポートすること。

サプライヤ行動規範

シスコは、以前は Electronic Industry Citizenship Coalition と呼ばれていた、責任ある企業同盟（RBA）の設立メンバーとして、RBA 行動規範を Cisco サプライヤ行動規範として採用しています。RBA 行動規範は、エレクトロニクス業界によって合意された責任ある調達および製造の基本原則を反映したもので、労働、健康および安全性、環境ならびに倫理の面での責任ある経営のための規定を含みます。この規範は、シスコ、その同業者、サプライヤ、顧客、そして外部の利害関係者のフィードバックを反映させて進化していく文書です。サプライヤは、随時変更される [RBA 行動規範](#) に従って営業するものとし、

目次

適用法令およびシスコポリシーの遵守

インサイダー取引

贈答品、旅行および接待

利益相反

不公正取引

腐敗防止

シスコに代わって行う未承認のロビー活動
およびメディア対応

知的財産権、プライバシーおよびデータ
保護

シスコのグローバル人権ポリシー

サプライヤ行動規範

簿外資金

倫理的問題に関する注意事項

簿外資金

シスコのサプライヤは、シスコのビジネスに関連するすべての取引に関する正確かつ完全な帳簿と記録を維持する必要があります。虚偽の、または誤解を招く帳簿、記録、および会計記録は固く禁じられています。これには以下の行為が含まれます。なお、シスコの従業員がシスコのサプライヤにそのような行為をするように依頼した場合でも同様とします。

- 正当なビジネス上の理由なく、まだ提供していない商品または役務の対価をシスコに請求すること。
- 有効な発注書面が存在しない状態で商品または役務を提供すること。
- 開示または記録されていない会社の資金（「簿外資金」）を確立、保持、または使用すること。

倫理的問題に関する注意事項

シスコは、すべての従業員、お客様、パートナー、サプライヤ、株主および関係者が、本サプライヤ倫理綱領またはその他シスコポリシーの違反にあたると思われる行動または状況について、速やかに報告することを期待しています。サプライヤは、シスコの従業員またはその代理人による行為を含め、シスコとの取引またはシスコを代理しての取引に関係する、知られているまたは疑いのあるすべての違法または不正行為を、シスコ倫理担当室（ethics@cisco.com）に、または[シスコ倫理ホットライン（EthicsLine）](#)の報告ツール経由で、速やかに通知するものとします。